

学校 教育 目標	ふれあい・輝く大綱の子 人や自然と進んでふれあい、豊かな心でたくましく自らの生き方を創造する子どもの姿を大切にします。 思いやりの綱…子どもたちがまちの中で、共に学び合ったり、役に立つことを考えたりしながら、豊かな感性と優しい心が育つようにします。「徳」「公」 元気の綱…子どもたちが生命、健康、個性を大事にし、自分らしさを発揮できるようにします。「体」 やる気の綱…子どもたちが自分の力を信じ、意欲的によりよく問題解決していきながら、社会への視野を広げていかれるようにします。「知」「開」			
	学校 概要	創立 146 周年 児童生徒数: 814 人	学校長 谷石 宏之 副校長 大伴 紀子 主な関係校: 大綱中学校	2 学期制 一般学級: 24 個別支援学級: 4

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈言語活動を通して、伝え合う力〉 〈課題を発見し、協働しながら解決する力〉 〈主体的に学び続ける力〉	大綱中 大綱小 大豆戸小 太尾小 菊名小	○主体的に学習に取り組む子ども ～学びあう～ ○あいさつができ、友達や地域とのかかわりを大切にする子ども ～関わり合う～ ○自分の良さを生かしながら夢や希望に向かってチャレンジする子ども ～未来を創る～

中期 取組 目標	「児童一人ひとりが個性を発揮し、地域に開かれた学校にします」 ・地域の学習環境や教育力を生かし、教育課程の工夫、改善を進めます。 ・自分らしさを発揮できるように、丁寧な児童理解に努めます。 ・互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を育てます。

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①教材研究の充実と、年間の学習計画を基に地域の教育力や行事を活用しながら授業を進める。 ②重点研の研究テーマを『自ら問いをもち、一人一人が本気で考え、伝え合い、学習や生活と結び付ける子どもの育成』と設定し、国語科の時間を中心に、主体的な問題解決能力を育成する。
担当 重点研推進委員会	
豊かな心	①年間を通してペア学年でのふれあい活動を充実させ、異学年同士のつながりを築くようにする。②あいさつが学校全体に浸透するような取り組みについて、委員会を中心に活動する。また、各学年でのあいさつ運動を推進する。
担当 ふれあい委員会	
健やかな体	①学校保健委員会のテーマ『体力づくりで健康な体を作ろう』を実現するため、リズムジャンプを年間計画に取り入れ、運動習慣づくりに努める。②一校一実践運動の取り組みとして、長縄・短縄集会を年2回ずつ行い、児童に運動の楽しさを味わわせ、運動習慣作りや体力向上に努める。
担当 健康教育部	
児童指導	①学校のきまりを「学習」「生活」「給食」「掃除」の4つのスタンダードに分け、全職員で共有し、一貫した指導を行う。改善点については、随時見直しを行い児童が安心して学校生活を遅れるものに改善していく。②職員会議時、児童理解の時間を必ず設け、児童の状況を共通理解する。
担当 児童指導部	
特別支援教育	①個別の教育支援計画の作成・支援授業・学校カウンセラー、通級指導教室、各専門機関との連携等を組織的に活用し、児童への支援を進める。②一般学級と個別支援学級の連携強化に向けて、交流の機会を継続する。また、特別支援学校との副学籍交流の充実を図る。
担当 特別支援担当	
地域連携・ 学校運営協議会	①地域防災訓練を授業参観時に共催し、子どもたちが地域の一員として自覚できるようにする。また、各学年による地域の方との関わりを充実させる。②学校運営協議会や学校評価アンケートをもとに、地域・保護者の願いを学校運営に反映していく。
担当 教務部	
担当	
いじめへの対応	①「いじめ防止基本方針」にのっとり、いじめの早期発見に努める。また、「いじめ防止対策委員会」「児童支援ノート」「ケース会議」等で全職員へ共通理解を図る。②年2回のY-Pプラン実施、年1回の児童アンケート等により得られた情報を共有し、些細な変化を見逃さず一人ひとりの思いに寄り添うよう体制作りをする。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①メンター研修やミドル研修を通して、子どもたちの確かな学力、基礎基本の定着、思考力、表現力、判断力を育成できる指導力を養う。②「電子申請システム」「グループウェア」の活用を検討し、事務の簡素化、効率化を図り、子どもたちと向き合う時間を創造していく。
担当 教務部・メンターチーム	